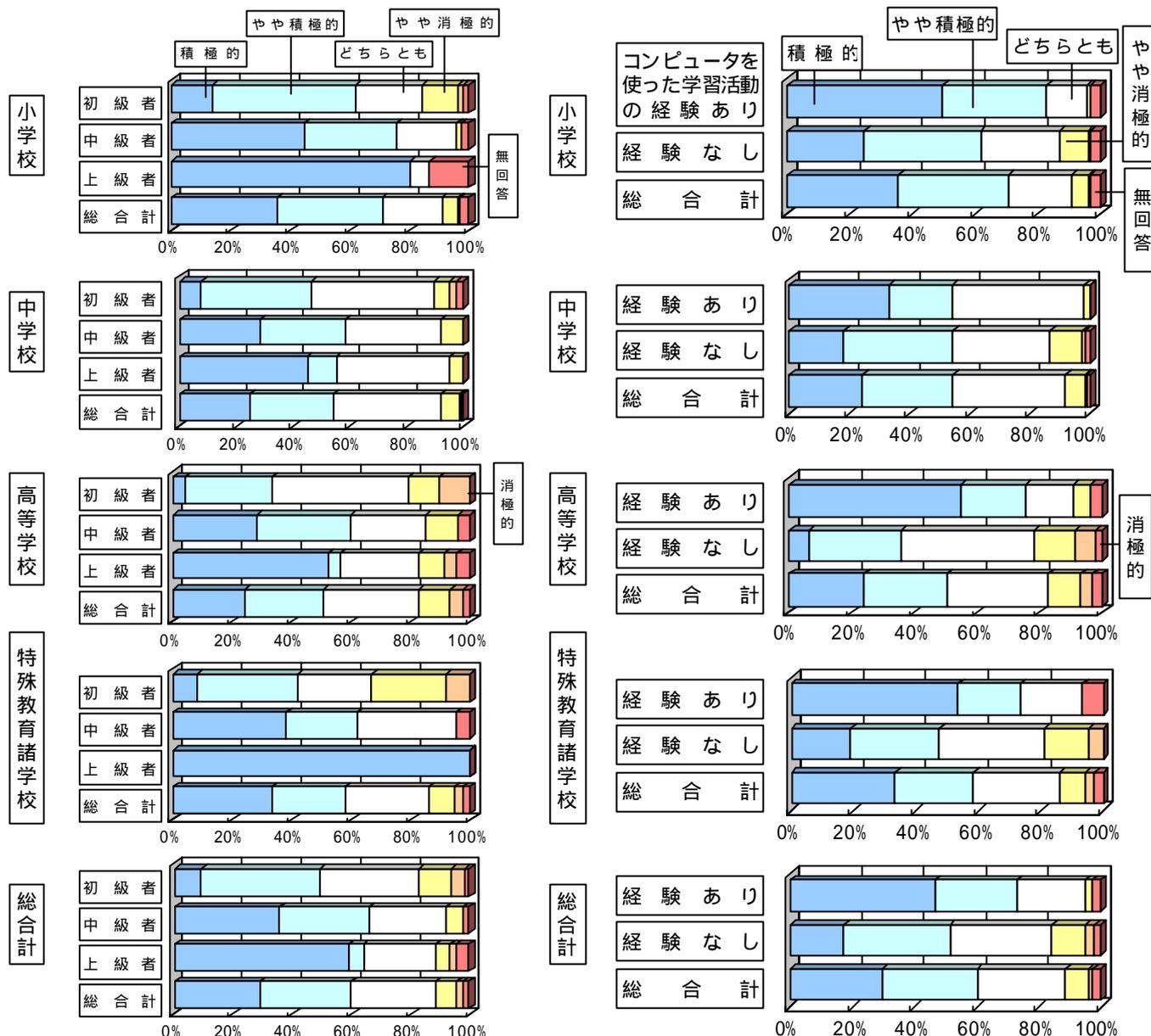


(7) コンピュータを使った学習活動への態度 (個人調査)



教員の技能レベルを判断するにあたっては、以下の項目が一つ以上当てはまることとした。

【初級の基準】

- ・コンピュータが使えない。
- ・ワープロが使える。
- ・インターネットに接続できる。(ブラウザを使ってホームページを表示することができる。)

【中級の基準】

- ・電子メールを使うことができる。
- ・インターネットで検索をすることができる。
- ・ソフトウェアのインストールができる。
- ・画像を扱うことができる。

【上級の基準】

- ・ホームページを作ることができる。
- ・LANの管理ができる。
- ・プログラミング言語を使うことができる。

コンピュータを使った学習活動には、授業だけでなく、休み時間にインターネットを使って調べ学習をすることなども含まれる。

- ・ コンピュータを使った学習活動に対する態度は、「積極的に進めていきたい」と「積極的に進めていきたいと考えているが自信がない」を合わせて62.2%である。コンピュータの操作技能と学習活動の経験及び態度でクロス集計してみると、コンピュータの操作技能が高い教員ほど学習活動で利用した割合が高く、積極的に活用したいと考えている。しかし、「やや積極的」まで合わせると態度に対する大きな差はなくなることから、コンピュータの操作技能の向上だけが利用促進につながるとは限らないことがわかる。